

彙報（平成二十六年）

〔委員会〕

書陵部委員会 平成二十七年三月十七日開催（於書陵部南會議室）

委嘱委員（平成二十六年）

笹山晴生（東京大学名誉教授）

松野陽一（国文学研究資料館名誉教授）

白石太一郎（大阪府立近つ飛鳥博物館長）

五味文彦（東京大学名誉教授）

花登正宏（東京国際大学教授）

三角洋一（大正大学文学部特命教授）

〔展示会〕

第六十七回展覧会 明治天皇 邦を知り国を治める

（近代の国見と天皇のまなざし）

平成二十七年一月十日～三月八日 開催（於三の丸尚蔵館）

〔図書課関係〕

一 収書

（一） 購入図書 四部 一〇点

（二） 寄贈図書 七部 二二点

（三） 雑件取得図書 六部 三二点

二 調査・整理

（一） 有栖川宮本 一〇五点

（二） 新収本 四〇六点

（三） 書陵部本蔵書印

三 出版

（一） 『コロタイプ複製花園宸記卷三十二・卷三十五』

二卷・解説二冊 三月十二日刊行（便利堂製作）

八〇部（五〇部 思文閣出版市販）

（二） 『図書寮叢刊九条家本紙背文書集中右記』一冊三月二十六日刊行

三五〇部（二五〇部 明治書院市販）

（三） 『書陵部紀要 第六十六号』・『同 陵墓篇』各一冊

四 複本作成

(一) マイクロ撮影

東山御文庫本

八〇〇フィート

(二) デジタルデータ作成

書陵部所蔵資料画像公開関係

九一〇八枚

図書寮叢刊関係

一二五一枚

五 調査

〔都外〕 京都御所東山御文庫 株式会社便利堂 京都府立総合資料館

京都大学総合博物館

六 視察・小展示会

(一) 視察

一九件

(二) 小展示会

九件

七 図書・特定歴史公文書等

(一) 図書

閲覧(含複製本)

七四三人 九八四二点

複写

三一四件 六四七三点

展示出品

七件 四九点

掲載(含電子出版)

一六五件

映像使用(含番組提供)

三三件

貴重書複製(含デジタル)

四七一点

(二) 特定歴史公文書等

利用請求件数 ※一

四三二六件

利用決定件数 ※二

四二〇四件

利用件数

三三一三件

閲覧

三二七六件

写しの交付 ※三

三七件

異議申立て

〇件

利用請求権外の利用

九〇二一件

簡易閲覧

八四九七件

特別複写

四六八件

特別撮影

五六件

移管元行政機関による利用

二六六八件

閲覧者数

一一八七人

※一・二 前年度の請求及び請求に対する利用決定も含めて計

上(各一一五件)

※三 閲覧の上、写しの交付を利用した件数も重複

(三) 図書館

貸出

一二一一八冊

購入 図書

一五八冊

非図書資料

〇点

寄贈その他

二八五冊

(四) 古文書修補

未整理本

五点 三九枚

既整理本

九八点 六〇六三枚

公文書製本

二〇三点 三四一枚

その他

四三点

八 組織変更

平成二十六年四月一日付けで、図書課に利用推進係、図書課図書寮文庫に第三図書調査室を置いた。

利用推進係においては、次の事務をつかさどる。

(一) 書陵部が所蔵する資料（以下「所蔵資料」という。）の利用推進に係る調整、企画及び立案に関すること。

(二) 所蔵資料の広報に関すること。

第三図書調査室においては、漢籍部門の皇室用図書及び同資料に関する次の事務をつかさどる。

(一) 収集、整理及び登録に関すること。

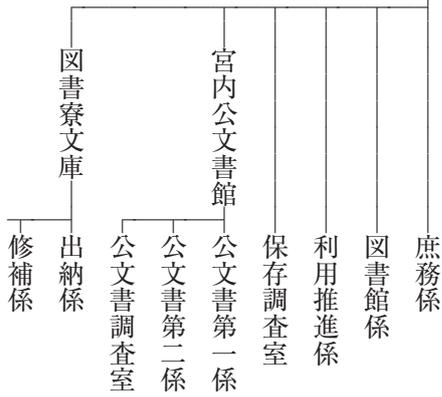
(二) 目録及び索引の作成に関すること。

(三) 調査及び研究に関すること。

(四) 校本及び複本の作成並びに写真の撮影に関すること。

(五) 解説、紹介及び出版に関すること。

(図書課組織図)



〔編修課関係〕

一 実録編修室

実録編修

1 昭和天皇実録編修

(一) 編修概要

当課では平成二十六年三月をもって編修を終えた昭和天皇実録を、同年八月二十一日に天皇后両陛下に奉呈し、九月九日に内容を公表した。また、平成二十六年より五ヶ年計画で公刊事業（本文十八冊・索引一冊）を開始し、平成二十七年三月に本文の第一（明治三十四年～大正二年）・第二（大正三年～大正九年）を公刊した。

(二) 調査

〔都内〕 国立国会図書館憲政資料室、外務省外交史料館、防衛省防衛研

究所、大宅壮一文庫ほか

2 香淳皇后実録編修

(一) 編修概要

当課では香淳皇后実録の編修事業を平成二十年度より開始した。本事業は十二ヶ年計画で、平成三十一年度を終了する予定である。なお、併せて明治以後皇族実録の編修を続行している。



(二) 調査

〔都内〕 明治学院大学図書館付属日本近代音楽館、国立国会図書館憲政資料室ほか

〔都外〕 京都御所東山御文庫、京都府立総合資料館

(三) 受入図書・資料

・刊本

一一八冊

・DVD・CD

九件

二 皇室制度調査室

皇室制度史料編修

(一) 編修概要

当課では『皇室制度史料』の編修及び公刊事業を昭和五十二年度より開始し、現在は第四次編修事業（儀制編立太子、踐祚・即位、大嘗祭）を遂行している。本事業は十四ヶ年計画で、平成三十八年度に終了する予定である。平成二十六年度は、『皇室制度史料 儀制 立太子一』（宮内庁、平成二十七年三月三十日）を刊行した。

(二) 調査

〔都内〕 東京大学史料編纂所、国立公文書館ほか

〔都外〕 京都御所東山御文庫、陽明文庫、京都大学附属図書館、京都大学総合博物館、仁和寺、立命館大学図書館、天理大学附属天理

図書館、神宮文庫、国立歴史民俗博物館

図書館、神宮文庫、国立歴史民俗博物館

(三) 受入図書・資料

・刊本

六〇冊

・紙焼写真

五三件

〈訂正〉

書陵部紀要第六六号の134頁下段12行目に誤りがありましたので、次のように訂正いたします。

(誤)・紙焼写真

〇件

↓

(正)・紙焼写真

三〇件

〔新収本目録〕

平成二十六年四月から平成二十七年三月まで、当部において整理した和漢
図書を収録。本紀要六十六号収書目録に続くものである。

織仁親王御写 (有栖)

四枚

有栖

一〇〇二三

二二二 勅撰集

古今集仮名題歌 一名三代集仮名題歌

江戸末期写 (有栖)

一冊

有栖

五一七一

宗教

員数

函

号

拾遺和歌集上・下 花山天皇御撰

仏教

室町後期写 (江戸初期補写)

二帖

一五四

六五四

一三三 史伝

諸門跡伝

江戸末期写 (有栖)

一五冊

有栖

五一六九

二二三 家集

宋雅千首 飛鳥井雅縁詠

江戸末期写 (有栖)

三冊

有栖

五一七四

教育

一八〇 総説 雑書

増補元田先生進講録

元田永孚記
徳富猪一郎編

昭和期写

一冊

一一六

二〇五

二二四 撰集 御会

禁裏仙洞御会和歌 応永一五、明暦四、享保元 (有欠)

江戸中期写

六二冊

一五三

二三〇

二二三 史伝

和歌作者伝記

江戸末期写 (有栖)

一冊

有栖

五一七五

御会和歌一字題

江戸末期写 (有栖)

一冊

有栖

五一七二

和歌 連歌

二二〇 総説 雑書

三部抄

文政二写 (有栖)

一冊

有栖

五一七九

類題 一名類題寄書類題目録

江戸末期写 (有栖)

三冊

有栖

五一七六

二二二 御集

後土御門院御製百首和歌

後土御門天皇御製

職仁親王御写 (有栖)

一卷

有栖

一〇〇二二

源氏物語 紫式部著

江戸前期写

五四帖

五五三

二五

源氏物語系図 三条西実隆等著

江戸前期写

一帖

一五三

二二九

美術

桜町院御製懷紙写

桜町天皇御製

三〇〇 総説 雑書

正倉院 公益財団法人菊葉文化協会

平成二四・一〇・二三活版
菊葉文化協会

書画

三一〇 概説 雑書

執筆法集解 江戸中期写(有栖) 一冊 有栖 五一八一

入木管見鈔 清水谷流 江戸中期写(有栖) 一冊 有栖 五一八二

入木抄 尊円親王記 安永九・四・一八 尾崎積興写(有栖) 一冊 有栖 五一八〇

入木伝来系譜 世尊寺家 享和三・二 尾崎積興写(有栖) 一冊 有栖 五一七七

入木道伝流 寛政六・一〇・一八 尾崎積興写(有栖) 一冊 有栖 五一七八

三一七 法帖 拓本 書譜 書札

後西天皇宸翰大文字 龍、師 伝宸筆(有栖) 二枚 有栖 一〇〇二五

三島毅書幅 七言絶句 海灣築土 明治二二 自筆 一幅 B六 八四一

三島毅書幅 七言絶句 去年京洛 大正五 自筆 一幅 B六 八四五

三島毅書幅 七言絶句 榛莽当年 明治二九 自筆 一幅 B六 八四二

三島毅書幅 七言絶句 二年承載 明治三八 自筆 一幅 B六 八四三

三島毅書幅 七言絶句 老後益嗟 三島毅 大正三 自筆 一幅 B六 八四四

明治天皇宸翰御手習并御清書 文久元・一一・二五 宸筆原本(有栖) 三七点 有栖 一〇〇二六

歴史及伝記

日本史

四一三 雑史 実録

昭憲皇太后実録 上・下・別巻 宮内庁著 明治神宮監修 平成二六・四・一一活版 吉川弘文館

三冊 A一 一八六〇

椿葉記 貞成親王記 江戸末期写 一冊 二六二

四一六 古文書

桂宮地下侍木崎平岩両家伝来文書

木崎近直写他 二六一点 C一 二二六

光格天皇宸翰御消息 寛政五、八、一二、一三 真仁親王宛 宸筆原本(有栖) 四通 有栖 一〇〇二八

孝明天皇宸筆御書状 九条尚忠宛 附 覚書(一枚) 檀紙包紙(二枚) 孝明天皇記 宸筆原本 三通 五〇九 一〇五

後桜町天皇宸翰御消息 職仁親王宛 宸筆原本(有栖) 一通 有栖 一〇〇三〇

桜町天皇宸翰御消息 元文四・九、寛延三・三(九二通) 職仁親王宛 宸筆原本(有栖) 三卷 有栖 一〇〇二四

附 勅書目録(二冊) 宸筆原本(有栖) 一通 有栖 一〇〇三二

桜町天皇宸翰御消息 正・二八 職仁親王宛 宸筆原本(有栖) 一通 有栖 一〇〇三三

桜町天皇宸翰御消息 職仁親王宛 宸筆原本(有栖) 一通 有栖 一〇〇三四

中原師古勘申並注進状等 宸筆原本(有栖) 一通 有栖 一〇〇三八

中原師古記他 自筆等 一卷 B六 八四六

東山天皇宸翰御消息 改元関係

一冊 A一 一八六〇

一通 B六 八四六

宸筆原本(有栖) 九通 有栖 一〇〇二九

明正天皇宸筆御書状 年月日未詳 江玉真慶宛

附 是澤恭三筆釈文(二枚) 明正天皇記 宸筆原本 一幅 五〇九 二〇五

桃園天皇宸翰御消息 宝暦一〇・一〇・一九 職仁親王宛 宸筆原本(有栖) 一通 有栖 一〇〇三五

桃園天皇宸翰御消息 宝暦一、一二 職仁親王宛 宸筆原本(有栖) 三通 有栖 一〇〇三一

桃園天皇宸翰御消息 宝暦一二・閏四・一七 職仁親王宛 宸筆原本(有栖) 一通 有栖 一〇〇三六

外国史
四二四 朝鮮史

Celebrating Events with Banquets and Ceremonies in the Joseon Dynasty

大韓民国国立中央博物館編

平成二三・一一・三〇活版 大韓民国国立中央博物館 一冊 A一 一八五九

伝記
四三〇 概説 雑書

明治天皇御一代記並官女物語 大正元・九写 一冊 二七〇 五六二

露国皇太子漫遊記事 大正期写 一冊 二七〇 五六三

四三五 叢伝

BIOGRAPHICAL MEMOIRS OF FELLOWS OF THE ROYAL SOCIETY

VOLUME 36 附 マイクロフイッシュ(四枚)

英、王立協会編 平成二活版 ケンブリッジ大学出版局 一冊 A一 一八五八

法律及政治

古代法制

五一四 官職 位階

官位相当略円図 松岡辰方編(寛文二二)

江戸末期写 一冊 一七〇 三三八

五一六 臨時儀式

親王御着服御除服之事 明応元

二条持通、近衛政家等記 原本(有栖) 二卷 有栖 一〇〇二七

靈元天皇宸翰職仁親王御名字

宸筆原本(有栖) 一枚 有栖 一〇〇三七

近代法制

五二〇 皇室制度

宮禁内制草按

明治記写 一冊 一七〇 三三九

理学

七三一 動物

ジョン・ゲールド鳥類図譜総覧 紀宮清子内親王御編

平成一七・一一・一二活版 玉川大学出版部 一冊 A三 六四

光格天皇内々御当座御詠草	二通	二〇・四 三・三	三	五三六	光格天皇女房御月次御詠草	一通	二〇・四 七・三	一	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	三通	二〇・四 二・四・一	四	五三六	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 五・三・一	一	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・三・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	二通	二〇・四 六・三・四	四	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・三・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 一〇・一	五	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・四・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 一〇・六	三	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・五・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 一〇・四	二	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・六・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 一〇・四	二	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・七・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 一〇・九	四	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・八・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 一一・〇	二	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	二通	二〇・四 九・九・一	四	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 一一・三	二	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・〇・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	七通	二〇・四 三・二・七	四	五三七	光格天皇女房内々御当座御詠草	一通	二〇・四 九・二・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・一	二	五三七	光格天皇水無瀬宮御法楽御詠草	一通	二〇・四 二・二・五	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・二	二	五三七	光格天皇水無瀬宮御法楽御詠草	一通	二〇・四 二・三・一	三	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・三	四	五三七	光格天皇水無瀬宮御法楽御詠草	一通	二〇・四 二・四・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・四	二	五三七	光格天皇水無瀬宮御法楽御詠草	一通	二〇・四 二・五・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・五	二	五三七	光格天皇水無瀬宮御法楽御詠草	一通	二〇・四 二・六・一	二	五三七
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・六	二	五三七	古歌御拔書	一册	二〇・四 三・三	二四	五三〇
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・七	二	五三七	後柏原天皇御製等御写	一綴	二〇・四 三・一	五	五三〇
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 四・八	二	五三七	後西院天皇御題御短冊	一通	二〇・四 三・七	一	五三〇
光格天皇内々御当座御詠草	一通	二〇・四 三・一	一	五三七	後西院天皇石清水社御法楽御詠草	一通	二〇・四 六・九	一	五三三
光格天皇女房御月次御詠草	一通	二〇・四 五・一	二	五三七	後西院天皇延宝五年十月一日禁中御献上御製御詠草	一通	二〇・四 七・三	一	五三三
光格天皇女房御月次御詠草	一通	二〇・四 六・二	一	五三七	後西院天皇延宝五年十月廿四日法皇御会歌題御詠草	一通	二〇・四 七・二	二	五三三

打疊短冊一枚添

後西天皇延宝五年正月廿三日御会始歌題御詠草	一通	一〇二・五	二	五三	後西天皇寬文元年御製	一綴	一〇二・五	三三	五三〇
打曇短冊一枚添					後西天皇寬文九年御製	一綴	一〇二・五	四五	五三〇
後西天皇延宝三年九月法皇御賀御屏風御詠草	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇寬文五年御製	一綴	一〇二・五	三九	五三〇
後西天皇延宝三年三月鍋島加賀守下賜御製御詠草	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇寬文三年御製	一綴	一〇二・五	三九	五三〇
後西天皇延宝三年十月十四日法皇八十御賀御会	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇寬文七年御製	一綴	一〇二・五	四五	五三〇
御詠草					後西天皇寬文十三年正月和歌御詠草歌題打曇短冊一枚添	一通	一〇二・五	二	五三
後西天皇延宝三年十二月慈眼大師三十三回忌追	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇寬文十二年秋御詠草	一通	一〇二・五	二	五三
善御詠草					後西天皇寬文十二年四月廿四日御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三
後西天皇延宝三年正月廿三日御会始歌題御詠草	一通	一〇二・五	二	五三	後西天皇寬文十二年正月廿二日御会始御詠草	一通	一〇二・五	一	五三
打曇短冊一枚添					後西天皇寬文十二年二月廿五日聖廟法樂御詠草	一通	一〇二・五	一	五三
後西天皇延宝二年正月御会始和歌題御詠草	一通	一〇二・五	二	五三	後西天皇寬文十二年六月廿五日聖廟御法樂御詠草	一通	一〇二・五	二	五三
打曇短冊一枚添					後西天皇寬文八年御製	一綴	一〇二・五	四五	五三〇
後西天皇延宝八年二月十三日御会始御詠草	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇寬文六年御製	一綴	一〇二・五	三九	五三〇
後西天皇延宝四年九月七日永井伊賀守下賜御製	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇御製	二卷	一〇二・五	一三	五三
御詠草					後西天皇御製御留	一通	一〇二・五	一	五三
後西天皇延宝四年正月廿三日御会始歌題御詠草	一通	一〇二・五	二	五三	後西天皇御詠草	一通	一〇二・五	三	五三〇
打曇短冊一枚添					後西天皇御詠草	四通	一〇二・五	五	五三
後西天皇延宝四年二月廿二日水無瀬宮御法樂御詠草	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇御詠草	六通	一〇二・五	七	五三
詠草					後西天皇御詠草	一通	一〇二・五	一	五三
後西天皇延宝六年正月廿二日御会始歌題御詠草	一通	一〇二・五	二	五三	後西天皇御詠草	七通	一〇二・五	七	五三
打曇短冊一枚添					後西天皇御詠草	四通	一〇二・五	四	五三
後西天皇御歌御覺	一通	一〇二・五	四	五三	後西天皇御詠草	七通	一〇二・五	七	五三
後西天皇御懷紙御下書	一通	一〇二・五	一	五三	後西天皇御詠草	四通	一〇二・五	四	五三

後西天皇御詠草	三通	一〇二・五	三	五三三	後西天皇貞享元年七月廿九日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇帝古歌御拔書	二通	一〇二・五	二	五三三	後西天皇貞享元年十一月廿八日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇御消息	六通	一〇二・四	一五	五三〇	後西天皇貞享元年十一月廿八日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・四	一	五三三
後西天皇御消息	三通	一〇二・五	三	五三三	詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇御贈答歌御写	一通	一〇二・五	二	五三三	後西天皇貞享元年十月廿七日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇御短冊	二通	一〇二・五	二	五三三	後西天皇貞享元年十月廿七日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇古笈句御拔書	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇貞享元年十二月十七日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇古笈句御覺	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇貞享元年十二月廿二日水無瀬宮御法樂	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇御笈句御詠草	四通	一〇二・五	四	五三三	御詠草	二通	一〇二・五	二	五三三
後西天皇御笈句御贈答狀	三通	一〇二・五	三	五三三	後西天皇貞享元年正月廿七日御会始御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇後水尾天皇御贈答御消息	五通	一〇二・四	一五	五三〇	後西天皇貞享元年二月十二日水無瀬宮御法樂御詠草	一通	一〇二・四	一	五三三
後西天皇後水尾天皇御贈答御消息	一通	一〇二・四	二	五三〇	詠草	一通	一〇二・四	一	五三三
後西天皇後水尾天皇御贈答狀	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇貞享元年二月廿七日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇後水尾天皇御贈答狀	四通	一〇二・五	一五	五三三	後西天皇貞享元年二月廿七日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇後水尾天皇御贈答狀	五通	一〇二・五	八	五三三	後西天皇貞享元年八月廿七日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇承応四年御製	一綴	一〇二・五	二八	五三〇	後西天皇貞享元年八月廿七日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇貞享元年九月廿七日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇貞享元年六月廿九日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇貞享元年九月廿七日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇貞享元年六月廿九日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇貞享元年五月廿八日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇知恩寺第三十九代光譽上人影像御贊	一通	一〇二・四	一	五三〇
後西天皇貞享元年五月廿八日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇天和三年閏五月十一日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇貞享元年三月廿七日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇天和三年閏五月十一日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇貞享元年三月廿七日御月次御当座御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三	詠草	一通	一〇二・五	一	五三三
後西天皇貞享元年七月廿九日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三	後西天皇天和三年九月廿七日御月次御詠草	一通	一〇二・五	一	五三三

後西天皇天和三年九月廿七日御月次御当座御詠草	一通	三〇・五	一	五三	後西天皇天和三年六月朔住吉玉津島兩社御法樂	一通	二〇・五	二	五三
後西天皇天和三年五月十六日御月次御詠草	一通	二〇・五	一	五三	御詠草	一通	二〇・五	二	五三
後西天皇天和三年五月十六日御月次御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇天和三年六月廿五日聖廟法樂御詠草	一通	二〇・五	二	五三
後西天皇天和三年三月十六日石清水御法樂御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇天和二年九月四日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三
後西天皇天和三年三月廿一日御月次御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇天和二年十一月七日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三
後西天皇天和三年三月廿一日御月次御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇天和二年十月六日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三
後西天皇天和三年四月廿九日御当座御詠草	二通	二〇・五	二	五三	後西天皇天和二年十二月十七日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三
後西天皇天和三年四月廿二日御詠草	一通	二〇・五	二	五三	後西天皇天和二年十二月十七日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三
後西天皇天和三年七月廿七日御月次御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇年不明御製	二綴	二〇・五	九六	五三〇
後西天皇天和三年七月廿七日御月次御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇万治元年御製	一綴	二〇・五	二四	五三〇
後西天皇天和三年十月廿五日御月次御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇万治三年御製	一綴	二〇・五	三三	五三〇
後西天皇天和三年十月廿五日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇万治二年御製	一綴	二〇・五	三三	五三〇
後西天皇天和三年十月廿九日御月次御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇水無瀬宮御法樂御詠草	一通	二〇・五	一	五三
後西天皇天和三年十月廿九日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇明曆元年御製	一綴	二〇・五	二八	五三〇
後西天皇天和三年十二月十六日御月次御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇明曆三年御製	一綴	二〇・五	二四	五三〇
後西天皇天和三年十二月十六日御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後西天皇明曆二年御製	一綴	二〇・五	二八	五三〇
後西天皇天和三年正月廿八日御会始御詠草	二通	二〇・五	二	五三	後西天皇明曆四年御製	一綴	二〇・五	二四	五三〇
後西天皇天和三年二月廿七日御月次御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後桜町天皇柿本神影供御懷紙	二通	二〇・五	五	五三四
後西天皇天和三年二月廿七日御月次御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後桜町天皇柿本神影供御懷紙	二通	二〇・五	五	五三四
後西天皇天和三年八月廿九日御月次兼日御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後桜町天皇柿本神影供御懷紙	二通	二〇・五	四	五三五
後西天皇天和三年八月廿九日御月次御当座御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後桜町天皇柿本神影供御懷紙	二通	二〇・五	六	五三五
後西天皇天和三年六月御詠草	一通	二〇・五	一	五三	後桜町天皇栴本神影供御懷紙	二通	二〇・五	五	五三五

後奈良天皇御絵入消息	一通	二〇、四	二	七三〇	櫻町天皇伊勢兩宮御法樂五十首御詠草	一通	一〇、五	一六	七三四
後花園天皇御製等写	一綴	二〇、四	五	七三〇	櫻町天皇石清水御法樂十五首御詠草	一通	一〇、五	三	七三四
後伏見院御記	一卷	二〇、四	一〇	七三〇	櫻町天皇御題箋	一通	一〇、五	一	七三四
後水尾天皇後西天皇御贈答御消息	一通	二〇、四	三	七三〇	櫻町天皇御豎詠草	一通	九、四	二	七三四
後水尾天皇後西天皇和漢聯句御写	一通	二〇、五	一	七三三	櫻町天皇春日社御法樂十五首御詠草	一通	一〇、五	三	七三四
後水尾天皇御不審古歌御拔書御写	一冊	二〇、四	一〇	七三〇	櫻町天皇賀茂社御法樂十五首御詠草	一通	一〇、六	三	七三四
後水尾天皇仙頂国師号詔書	二通	二〇、四	四	七三〇	櫻町天皇鴨社御法樂十五首御詠草	一通	一〇、五	三	七三四
作者目録	一通	二〇、三	一	七三六	櫻町天皇督典侍御追悼御製御詠草	一卷	一〇、四	一	七三四
作者目録	一通	二〇、三	一	七三六	櫻町天皇御詠草	三通	一〇、四	一七	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三六	櫻町天皇御詠草	一通	一〇、五	六	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇御詠草	一通	一〇、五	五	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇御詠草	一通	一〇、五	六	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇御詠草	一通	一〇、五	八	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇御詠草	一通	一〇、五	六	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇御詠草	一卷	一〇、四	九	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇五十首御詠草	二卷	一〇、五	二〇	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇御法樂御詠草	一通	一〇、五	四	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇御法樂御詠草	一通	一〇、五	四	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇三十首御詠草	一卷	一〇、四	一六	七三四
作者目録	一通	二〇、四	二	七三七	櫻町天皇十五首御詠草	一通	一〇、四	五	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇大神宮御法樂御詠草	一通	一〇、四	五	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇大神宮御法樂御詠草	一通	一〇、四	五	七三四
作者目録	一通	二〇、四	二	七三七	櫻町天皇大神宮御法樂御詠草	二通	一〇、五	九	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇大神宮御法樂御詠草	一通	一〇、五	四	七三四
作者目録	一通	二〇、四	一	七三七	櫻町天皇大神宮御法樂御詠草	一通	一〇、五	四	七三四
櫻町天皇秋十五首御詠草	一通	三〇、四	五	七三四	櫻町天皇大神宮御法樂御詠草	三通	一〇、四	一三	七三四

櫻町天皇大神宮御法樂御詠草	一通	一〇五・四	一	五三四	真敬法親王御消息	一通	一〇三・三	三	五三三
櫻町天皇大神宮百首御詠草	一卷	一〇五・四	一七	五三四	新六歌仙画	六通	一〇三・三	八	五三三
櫻町天皇重陽内々御会御詠草	一通	一〇五・四	四	五三四					
櫻町天皇内侍所御法樂五十首御詠草	一通	一〇五・四	九	五三四	大円広慧国師賜号御下書	一通	一〇三・三	四	五三三
櫻町天皇中御門天皇御一周忌法華八卷御製御詠草	一通	一〇五・四	五	五三四	大本真寂禪師賜号勅書案	一通	一〇三・三	二	五三三
櫻町天皇二十首御詠草	一通	一〇五・四	四	五三四	豎詠草	一通	一〇三・三	一	五三三
櫻町天皇百首御詠草	一卷	一〇五・四	二八	五三四	知恩寺第二十五代伝誉上人影像御贊御写	一通	一〇三・三	二	五三〇
櫻町天皇百首御詠草	一卷	一〇五・四	一九	五三四	月次御会作者目錄	一通	一〇三・三	一	五三六
櫻町天皇百首御詠草	一通	一〇五・四	四	五三四	頓阿等和歌写	一通	一〇三・三	二	五三〇
櫻町天皇百首之中御詠草	一通	一〇五・四	七	五三四					
櫻町天皇冬二十首御詠草	一通	一〇五・四	七	五三四	中院通勝等和歌写	一通	一〇三・三	二	五三〇
櫻町天皇水無瀬宮聖廟多武峯廟御法樂十五首御詠草	一通	一〇五・四	八	五三四	中院通茂書状	一通	一〇三・三	二	五三三
詠草	一通	一〇五・四	八	五三四	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西公条等和歌写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西公条等和歌御写	三通	一〇五・四	八	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西公条等和歌御写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西公条等和歌御写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西実条等和歌御写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西実条等和歌写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西実隆等和歌御写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西実隆等和歌御写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西実隆等和歌御写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
三条西実隆和歌御写	一通	一〇五・四	二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
主上春宮上皇親王御服之記	一折	一〇五・四	二二	五三〇	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三
真敬法親王御詩	一通	一〇五・四	二	五三三	中院通茂書状	一通	一〇三・三	一	五三三

靈元天皇朗詠集詩句御懷紙 二通 二〇・三三
 七・二六・七 三 五三三
 靈元天皇朗詠集詩句御懷紙 四通 一〇・三三
 七・九・三三 四 五三三
 靈元天皇朗詠集詩句御懷紙 二四通 二〇・三三
 七・二六・七 四八 五三三
 冷泉濟繼等詠歌御写 一通 二〇・四
 三・八 二 五三〇
 冷泉濟繼等和歌御写 一通 二〇・四
 三・九 三 五三〇
 冷泉政為等和歌御写 一通 二〇・四
 三・〇 二 五三〇

和歌集 一冊 二〇・四
 三・四 一九 五三〇

東山御文庫別置本

文選 一五卷 卷一、四、七、一〇、一六、
 一八、二一、二二 南北朝初期写 二五卷のうち
 一五卷 二〇・三三 九六〇 五七六

文選 卷八 平安末期写 二五卷のうち
 二〇・三三 四五 五七七

文選 卷一四(首尾欠) 平安末期写 二五卷のうち
 二〇・三三 六一 五七七

文選 卷一七(首欠) 平安後期写 二五卷のうち
 二〇・三三 三一 五七七

文選 卷一九(首欠) 康和元写 二五卷のうち
 二〇・三三 八四 五七七

文選 卷二〇、断卷 承安二写 二五卷のうち
 二〇・三三 五七 五七七

文選 卷二三 鎌倉期写 二五卷のうち
 二〇・三三 五四 五七七

文選 卷二九(首欠) 正応二写 二五卷のうち
 二〇・三三 四四 五七七

文選集註 卷八、九 平安期写 二五卷のうち
 二〇・三三 九四 五七七

(書名) 御会始和歌 慶長 松添栄色 原本 一卷 桂 一〇 五三六
 中院通勝等 五十首和歌 天正五 誠仁親王家点取 二ヶ度 一卷 一冊 五〇一
 三三六 五十首和歌 貞享三・四 江戶中期写 一冊 五〇一
 三三六 後心空華院七回忌追慕和歌 文政元写 一冊 二六六
 五〇八 後瑞嚴院殿二十五回忌追慕勸進十首和歌 日野資矩写 一冊 二六五
 一〇六〇 禁御着到百首 一卷 江戶初期写 一冊 五〇一
 七五七 裏御着到百首 三卷 三條西実隆・ 江戶初期写 三冊 五〇一
 七五八 三條西実隆・ 題簽靈元天皇宸筆 一冊 鷹 四九六
 五〇 冷泉政為等詠 鷹司家 写 一冊 二一〇
 五三六 御当座始和歌 明和九 日野西兼貫写 一冊 二一〇
 五三六 御当座和歌 天和三 一五ヶ度 一括 四五六
 五二 靈元天皇御製、 天和三写 一冊 四五六
 鷹司房輔等詠 (折紙) 御当座和歌集 万治二、 江戶末期写 二冊 二一〇
 六三八 後鳥羽院天皇四百回御忌御奉納和歌写 寛文二、 江戶末期写 一冊 鷹 七三二
 政仁親王御所会始等和歌 慶長写 鷹 七三二 一冊 鷹 七三二
 後奈良院御着到 一卷 江戶末期写 鷹 七三二 一冊 鷹 七三二

書陵部本

マイクロフィルム

後奈良院御着到 一卷 鷹 七三二 一冊 鷹 七三二

貞敦親王御詠等	江戶初期写	一冊	五〇二 二六	五六	五七五	前撰政関白五十賀和歌			
近衛御所御会始	享保二二 一卷	一冊	二〇六 五七八	二〇	五七五	中院通茂等詠	江戶中期写	一冊	四五七 五〇
御法楽並御会和歌	文久三〇慶応二	一冊	一〇三〇 二六六 一四四	九二	五七五	桜町院御会和歌	延享四〇 寛延三〇 江戶中期写	一冊	五〇一 八七三
御法楽和歌	享保八 愛宕社御法楽等三〇ケ度 写	一冊	二六六 一四四	八一	五七五	桜町天皇坊中御会	享保一四〇二〇	三冊	五〇一 八七五
後水尾院御仰和歌聞書	日野弘資写	一卷	B六 四五三	一六	五七三	中御門天皇御製、 庭田重孝・藤原光和等詠	江戶中期写	四冊	二六八 七五七
後水尾院八十御賀御屏風の歌	江戶末期写	一折	一五四 四九	一一	五七五	作例和歌類題	卷一・庭田重嗣 稿本	一冊	二六四 五五五
後水尾法皇八十御賀御屏風和歌	日野資茂写	一卷	B六 四五〇	一〇	五七三	作例和歌類題草	庭田重嗣 自筆	一冊	二六四 五五五
御銘御伽羅之引歌	江戶末期写	一冊	三五二 一九一	九	五七三	貞建親王等詠歌並和漢連句懷紙		一冊	二六四 五五五
古文書	天正二〇 関白秀次宛 覚書	一卷	B七 二七三	八	五七三	宝曆 貞建親王・ 職仁親王御詠等	自筆 原本	一冊	一〇九八
後陽成院御着到	一卷	一冊	五〇一 九〇五	三六	五七五	座右抄	頭字 細川藤孝 寛文元写	二冊	二六六 一二五
古葉略類聚鈔	卷八〇・一一二 未詳 建長本	五冊	五五七 五七八	二〇〇	五七三	座右抄	頭字 細川藤孝 寛文七写 庸敬	二冊	二六六 三三六
古葉略類聚鈔	卷八〇・一一二 未詳 建長本	二冊	二五八	一九四	五七五	三条公実七百五十回忌追福和歌	安政三 鷹司政通等 江戶末期写	一冊	九六
最勝四天王院障子和歌	建永二 一卷	一冊	五〇二 八	二九	五七五	三体和歌	建仁二・二・一〇 橋本季村写	一冊	三五三 八七六
後鳥羽天皇御製	江戶初期写	一冊	二九	五七五	後鳥羽天皇御製等	後鳥羽天皇御製、 九条良経等詠	江戶初期写	一冊	五〇一 四〇三
積慈円等詠	題簽靈元天皇宸筆	一冊	二九	五七五	散木風煙集	鷹司政通写	安政五写	一冊	二六六 五七七
		一冊	二九	五七五	鳴の羽搔	中 八代集秀逸等 江戶中期写	一冊	二〇六 五三一	
		一冊	二九	五七五	四季和歌難陳	六〇二月 一卷	一冊	二〇六 五三一	
		一冊	二九	五七五	四吟三十首和歌	寛文四	一冊	五〇一 八五四	
		一冊	二九	五七五			一冊	二八 五七五	

合綴 三吟十首和歌、 每月抄、後西院御製	後西天皇御製等	江戶中期写	一冊	鷹 一五〇	五五	五七三	四條隆叙同隆師月次詠吟留	天明三・正、四・一二	写	一冊	一五四 三八五	二三	五七五
自讃歌 一卷 前文欠	後鳥羽天皇御製、 式子内親王御詠等	江戶中期写	一冊	一五〇 三五五	三〇	五九四	积阿九十賀和歌 一卷	一名 俊成卿九十賀和歌 後鳥羽天皇御製、 藤原基通等詠	江戶中期写	一冊	一五二 五七	一八	五九四
自讃歌 一卷 序欠	後鳥羽天皇御製、 式子内親王御詠等	江戶中期写	一冊	一五〇 三五六	三三	五九四	积万葉集 欠本	德川光圀注	写	四冊	二六六 四二八	三二五	五九六 六〇
自讃歌 一卷	後鳥羽天皇御製、 式子内親王御詠等	江戶末期写	一冊	一五一 三一三	三七	五九四	积門三十六歌仙 一卷	积荣海編	江戶初期写	一冊	五〇一 四〇四	一四	五九三
自讃歌 序欠 建仁元・三	寛文一〇・四写	北条氏治	一冊	二一〇 六五三	一八	五九三	拾玉抄 鷹司政通	自筆	一冊	二六六 四九三	二一	五九〇	
自讃歌 序欠	後鳥羽天皇御製、 式子内親王御詠等	江戶初期写	一冊	二一〇 六五四	二四	五九三	秋日詠庭上鶴和歌 寛永 一卷	江戶初期写	一冊	五〇一 三六三	一二	五九三	
自讃歌 序欠	後鳥羽天皇御製、 式子内親王御詠等	江戶初期写	一冊	二六四 四六三	三九	五九六	秋日同詠月契千秋詩歌	享保 原本	一卷	桂 一三四八	一三	五九三	
自讃歌 序欠	後鳥羽天皇御製、 式子内親王御詠等	江戶末期写	一帖	五〇〇 一七三	三六	五九三	十二月月画賛和歌	藤原光俊撰	江戶初期写	二冊	五〇一 一一七	二五三	五九三
自讃歌 序欠	冷泉為理写	江戶末期写	一冊	鷹 八八	三四	五九三	秋風和歌集	題簽後西天皇宸筆	和光坊智源写	一冊	一八四	五八	五九三
自讃歌 序欠	江戶末期写	江戶末期写	一冊	鷹 四三五	二六	五九三	修学院御幸御会	文政七・一〇	写	一冊	二〇六	一一	五九五
自讃歌 一卷	宗祇注 靈元天皇宸筆	江戶末期写	一冊	特 八五	四七	五九三	修学院御幸和歌	文政七 一卷	写	一冊	二〇六	一〇	五九五
自讃歌 一卷	宗祇注 飛鳥井雅親注	嘉永六写	一冊	鷹 九一	四八	五九三	修学院御幸和歌	文政八 一卷	写	一冊	七二五	九	五九五
自讃歌 宗祇注	嘉永六・一二写	嘉永六写	一冊	鷹 四六六	四〇	五九三	修学院御幸和歌	文政九春 一卷	写	一冊	七二六	一〇	五九五
自讃歌秘註	飛鳥井雅親注	嘉永六・二写	一冊	鷹 一〇三	四七	五九三	修学院御幸和歌	文政九春 一卷	写	一冊	七二七	一〇	五九五
四十八人一首 一卷	嘉永六・二写	嘉永六・二写	一冊	鷹 一〇三	四七	五九三	賜将軍家和歌 宝曆一〇 五十賀 写	江戶中期写	一冊	二〇六 六四九	一〇	五九三	
貞敦親王御詠等	江戶中期写	江戶中期写	一冊	一五〇 六四九	三〇	五九四							

修学院御幸和歌	文政九冬 一卷	二ヶ度	江戶末期写	一冊	二〇六	七二八	一〇	五五	詞林采葉集 一〇卷(三、四、五、六、一〇欠)	江戶初期写	二冊	三五三	七	五三
修学院御幸和歌	文政一〇 一卷	二ヶ度	江戶末期写	一冊	二〇六	七二九	九	五五	詞林采葉集 一〇卷 积由阿 江戶初期写	江戶初期写	一冊	谷 四八〇	一二六	五七五
修学院御当座	文政二・九・一四 一卷	写	江戶末期写	一冊	二〇六	五八九	一五	五五	新一人三臣和歌 公宴和歌拔書 元和九(慶安元) 一卷	江戶初期写	一冊	五〇一	七九	五三
修学院御当座歌	文政七、八	写	江戶初期写	一冊	五〇一	八〇七	七九	五三	後水尾・明正・後光明天皇御製、鳥丸資慶等詠	外題靈元天皇宸筆	一冊	五〇一	七九	五三
附 御幸小録	合綴 弘化五年大嘗会歌(一卷)	新居正方写	一冊	一五〇	五二四	二四	五四	新院和歌御会之写	寛文七・正(八・一一) 江戶末期写	一冊	葉 一八六	一〇五	五七五	
將軍家御屏風和歌	元文四 一卷	中院通躬等詠	一冊	二〇六	八二四	一五	五五	新調仙 一卷 新三十六人歌仙 江戶末期写	順德・後鳥羽・土御門天皇御製、式子内親王御詠、藤原良経等詠	一冊	一五〇	三三五	一五	五三
將軍家所望之和歌	享保四季	江戶末期写	一冊	F 四	一六	一二	五三	新三十六人撰歌合	十八番 一卷	一冊	三五三	八九九	一五	五三
烏丸光榮、三條西公福等詠	文明一四・八・一一 一卷	江戶中期写	一冊	五〇一	八九七	九一	五五	信寿院七十賀屏風之歌	江戶中期写	一冊	四五七	一〇〇	一〇	五三
後土御門天皇御製、勝仁親王御詠、足利義政等詠、飛鳥井雅親点	江戶初期写	題簽靈元天皇宸筆	一冊	九一	五五	九一	五五	新統太神宮神祇百首和歌	嘉永三 写	一冊	二一七	一一九	三四	五五
將軍家千首	文明一四・八・一一 一卷	江戶初期写	一冊	九一	五五	九一	五五	新統題林和歌集	江戶中期写	一冊	一五〇	三四一	一三一	五四
後土御門天皇御製、勝仁親王御詠等、飛鳥井雅親点	江戶初期写	題簽靈元天皇宸筆	一冊	五〇一	八九八	九一	五五	新内裏御障子和歌集	寛政二・一一・二二 一卷	一冊	一五二	三九	一六	五四
初度千首	嘉永六・八	江戶末期写	一冊	八〇一	八九八	九一	五五	新百人一首 一卷	典仁親王御詠等	一冊	一五二	三九	一六	五四
白峯宮奉詠詞	鷹司輔熙等詠 写	江戶末期写	一冊	二六五	二一七	五一	五五	新明題和歌集	伝足利義尚 智忠親王御筆	一冊	四五七	一二六	二七	五三
詞林采葉集	一〇卷 积由阿 江戶中期写	一冊	二六五	六七六	八	五五	五五	新葉和歌集 二〇卷	江戶中期写	六冊	鷹 六四一	四二二	五七四	
詞林采葉集	一〇卷 积由阿 江戶初期写	一冊	二一七	三五七	一四〇	五五	五五	宗良親王	江戶初期写	二冊	五一五	六二	二一七	五七
詞林采葉集	一〇卷 积由阿 江戶初期写	五冊	二六六	三三二	二一五	五五	五五	新類題和歌集	江戶初期写	二冊	五一五	六二	二一七	五七

烏丸光榮等	江戶中期写	一三冊	一五〇 三二八	一六四六	五三六 四
新類題和歌集	附一三卷 校正書(二葉)				
烏丸光榮等	明和五写 辻守全	一五冊	一五二 二	一六一〇	五四三 四
新類題和歌集	一三卷				
烏丸光榮等	江戶末期写	二八冊	一五二 三七	一五八一	五四六 四
新類題和歌集	一三卷				
烏丸光榮等	江戶末期写	一四冊	一五二 三二七	一四二九	五四六 五
新類題和歌集	三二卷				
烏丸光榮等	江戶末期写	三一冊	二一三 三六	一六八三	五五三 五
新類題和歌集	一三卷				
烏丸光榮等	江戶中期写	七冊	五〇六 一二	一四二二	五六六 六
新類題和歌集	一三卷				
烏丸光榮等	江戶中期写	一三冊	五〇六 二五	一六五一	五六九 七
角田川詠和歌	江戶初期写	一卷	桂 一一一	九	五七三
智仁親王御詠等	宝永六				
住吉社奉納千首和歌	江戶中期写	四冊	二一〇 六三〇	一八六	五五三
平間長雅、 徳川光圀等詠	江戶初期写	一冊	五〇一 三三七	二二	五五三
後土御門天皇御製、 勝仁親王御詠等	題簽靈元天皇宸筆 各自筆	一冊	三五三 九一四	一四	五五三
静寛院宮側近者詠草	寛永八・九、同一、 一〇・八				
聖廟御法楽和歌	一卷 附 烏丸光広判詞	一冊	五〇一 二二七	二二	五五三
後水尾天皇御製、 中院通村等詠	江戶中期写				
聖廟住吉社御法楽	明応五・四・五 一卷				
住吉社法楽百首統歌 一卷 明応四・一二・一三	江戶中期写	一冊	五〇二 一八	一九	五五五
後土御門天皇御製、 勝仁親王御詠等	題簽桜町天皇宸筆	一冊	二〇二 一四四	一五	五五五
精里府君六表寿歌	江戶末期写	一冊	二〇二 一四四	一五	五五五
清涼殿御障子和歌	安政新造 一卷				
冷泉為理等詠	安政三写	一冊	二〇六 五一八	四八	五五五
雪中庵集	雪玉 中院 草庵	四冊	二六六 六〇六	五一七	五六一
旋頭歌類聚	類題 一卷	一冊	一五一 二九八	三〇	五四一
仙院着到百首和歌	宝永二				
靈元天皇御製等	江戶中期写	一冊	鷹 五一	八六	五七三
撰歌留	山城十二景富士八景等和歌				
家仁親王	江戶中期写	一冊	F四 九〇	三七	五七三
千首 一卷	飛鳥井雅豊、 同雅光等詠 (未完写本)	一冊	一五二 五二	五六	五四九
千首和歌 一卷	靈元天皇御製、 家仁親王御詠等	一冊	五〇一 八九〇	九〇	五五五
千首和歌拔書	文明一三 千首等 恋・雑	一冊	三五五 一一二	六六	五五三
白川雅喬王写 白川雅光王加筆					
桃華藥葉	一条兼良	一冊	二六四 六九七	八八	五五四
秘蔵抄	合綴 秘説	一冊	鷹 一一〇	七三	五五四
デジタルデータ					

書名	(頁数)	(函号)	(コマ数)	(整理番号)
県召除目次第	三点	九五二二六	二七〇	五八二
蝦夷諸地図	二折	三五一四八	一七	五七五
岡山孤児院本院並分院写真帖	二冊	B九一七	一三	五八一
解体新書	四卷序 図一卷			
九条家文書	五冊	二〇五一八一	一四六	五八二
公事録	三二六枚のうち一枚	九一〇六	一	五八二
源氏物語	一〇六枚のうち一枚	E一	七八	五八二
江家次第	二冊	五五三	七三	五八〇
後柏原天皇宸筆朗詠御色紙幅	一幅	五〇九七三	二	五八〇
後光厳院御文類	一卷	伏七六〇	二三	五八二
後小松天皇宸筆秘曲御伝授状	一幅	五〇九二〇	二	五八〇
後桜町上皇仙洞御所遷幸行列絵図	二卷	B六七二二		六一五八一
寛政二・一一・二六				(寛政画)
後土御門院御文類	勅書(一通)、御消息(一通)			(極彩色)
後奈良院懷紙御詠草	一卷	伏七六二		九五八二
後花園院御文類	一名 知仁親王懷紙御詠草 御製	宸筆等	一卷	伏五八八
後水尾院八十御賀御屏風并色紙形写	江戶中期写	江中	一枚	二六四四
後水尾院八十御賀寿杖図	江戶末期写	江末	一卷	B七四〇
後水尾天皇御画像	尾形光琳画	自筆	一幅	四一五〇
三国志	六五卷	宋 裴松之註	二冊	四〇一
拾遺和歌集	天福本	正応三・八・一	一帖	五〇三
新儀式	第四	鎌倉前期写	一卷	九四〇七
静寛院宮御日記	明治元	六	五冊	五〇八
仙院七十御賀御屏風画様	文化六	一二・一四	二枚	三〇二
内裏式	中卷	藤原冬嗣等	一卷	九一四

中右記 一名 宗忠公記
嘉保元(保延元)有欠

藤原宗忠 卷一、二、一三、
一六紙背

椿花図譜

鎌倉期写 二点のうち
三冊 一〇五九
江戸期画 一帖 四五四
一七

〔貴重書複製目録〕
(書名)

年中行事 一名 師遠年中行事

鎌倉期写 一卷 四一五
三三二

易象正 (書名)

百官唐名 合綴 年中行事御障子文

文明一〇・六・六写
甘露寺親長 一冊 五〇九
六〇

歌楽雜譜

漂到流球国記 寛元元・九(有総)、
二・五、同六

三九 五八〇

花鳥余情 卷一・二・二欠

琵琶湖疏水工事之図 明治二〇 三卷

自筆 一卷 九
五二

玩易微言摘抄

母后代々御賀記 明治二〇 (彩色)

三卷 E二
三

玉葉拔書 隨身傍事

附 執柄北政所賀記 南北朝初期写
(源倫子、藤原全子)

一卷 伏
三九六

源氏物語講釈 卷四二欠

本朝月令 卷第二 惟宗公方撰

鎌倉期写 一卷 九
三八六

御即位灌頂秘記

本朝諸家円系図 清和源氏、
徳川氏 江戸中期版

二鋪 二七一
二四四

御即位次第 前欠

明神宗贈豊太閤書 万曆二三・正・二一
明 万曆二三 原本

一幅 E四
二

国華余芳

故唐律疏義

一冊 一三
五八三

伯氏打物譜

滋賀県震災地実景

史記 序(卷四〇)

四書五經講宗

三 五八二

(複製本
頁数)

(函号)

(請求番号)

六冊 四〇一
五〇

一冊 伏
一一四

五冊 五〇六
一六

六冊 四〇一
五一

一冊 四〇七
七三

一冊 四〇七
七七

四二冊 五〇〇
一九

四冊 四〇一
五九

八冊 四〇一
四〇

一冊 九〇八
八五

一冊 四〇八
八六

一冊 一六八
八五

一二冊 B八
一四六

九冊 四〇二
一七

一冊 伏
一九六

一冊 B一
四七

二〇冊 四〇一
八六

六冊 四〇一
六二

三冊 四〇一
五五

朱 一四三

電子 二三

朱 一九三

電子 三三

三二四

三二八

四書備考	一八冊	四〇一	三一〇	土御門泰連勘文 正徳二	一冊	一九七六	三七五
七經孟子考文	一四冊	四〇一	五五五	爪調	一冊	伏九八七	朱 一四
執事補任次第	一冊	四〇七九	五五	天神大事 御十号相伝事	一冊	四〇八〇	一六五
四方拝次第 寛永一三	一冊	四〇七〇	五五五	内侍所仮殿渡御列書 寛文一三	一冊	四〇七一	四八
四方拝次第	一冊	四〇七二	五四	中臣祓	一冊	四〇八三	一六五
周易伝義口訣	一二冊	四〇七一	四三	八代集	一三冊	五一〇〇	五五三
受禪立坊同日例	一冊	一六六八	五四	八代集	一四冊	五一〇一	五五四
春秋胡氏伝	五冊	四〇二五	四三	仏法灌頂之偈 首欠	一冊	四〇八七	二七五
春秋実録	三冊	四〇一六	三三	岷江入楚	一冊	四〇八七	二七五
巡台撮景帖	一冊	B八 一五〇	三三	文選	一九冊	四〇八二	五四
声明譜 琵琶	一冊	九八〇	三六	山科言成卿記 天保元〜安政二	四五冊	二五三	二二
神鏡劍璽自西海入洛事	一冊	一六六七	一三	嘉仁親王兵庫県下行啓記念写真	二三枚	B八 六八	電子 一三
新所旬次第	一冊	四〇八二	六五	弄花抄	四冊	五〇六	五五
親王節会参仕条々	一冊	四〇七八	五五	我身にたとの姫君	二冊	四五九	五五
踐祚次第	一冊	一六六三	四三	和歌山県勝景写真帖	一冊	B八 一四五	電子 一三
即位印事	一冊	一六八三	四四				
即位灌頂儀	一冊	四〇八四	四九				
即位灌頂本文事	一冊	一六八六	四八				
即位由奉幣宣命案 寛永二〇 後光明天皇	一冊	一六七二	三七				
蘇合万秋楽 最秘説	一冊	九八四	一三				
大織冠画幘讚	一冊	一六七九	一六				
啄木調	一冊	九八六	一四				
青島並山東鉄道沿線勝景写真	一冊	B一 八七	一三				